

令和4年度 サポートみらい 事業報告書

1 総括

新型コロナウイルス感染症流行以来、相談者との面会や自宅、通所事業所訪問などを制限せざるを得ず、相談者の詳細な状況把握が困難なことが多かったが、令和4年度になり、面会や訪問を実施できることが多くなり、これ迄に比べ、計画作成や評価を順調に行うことができた。また、関係機関との関係性づくりも進めることができた。令和4年度も3年度に引き続きサービス等利用計画の充実、計画等の作成スケジュール管理の徹底、職員のスキルアップを重点課題として取り組んだが、各事項ともまだ課題はあるもの、徐々に向上が見られており、概ね目標を達成できたと考えている。

2 事業概要

- 1) 施設名 サポートみらい
- 2) 事業種別 特定相談支援事業
- 3) 所在地 小平市大沼町2-1-3
- 4) 経営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 契約相談者数 261名（令和5年3月31日現在）
- 6) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 7) 事業開始年月日 平成25年4月1日
- 8) 職員（令和5年3月31日現在）
管理者 兼 相談支援専門員 1名
相談支援専門員 3名
事務員 1名

3 基本理念

一人ひとりの自己実現
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築
安心と希望のもてる生活

4 基本方針

利用者の意向を踏まえ、それぞれの地域で日常生活、社会生活を実現できるように、関係区市町村、地域の保健・医療・福祉サービス機関等との連携を図り総合的なサービスの提供に努める。

5 実施事業（活動内容）

計画相談支援

- 1) 相談
 - (1) 生活全般に関する相談
 - (2) サービスの利用意向（現在のサービス）
 - (3) 解決すべき課題の整理
- 2) サービス担当者会議の開催
 - (1) 複数サービスに共通の支援目標
 - (2) 役割分担
 - (3) ネットワーク強化
- 3) サービス等利用計画の作成
 - (1) 生活に対する意向
 - (2) 総合的な支援の方針
 - (3) サービスの目的

- 4) モニタリング
 - (1) 本人の意向
 - (2) 計画の達成
 - (3) サービスの種類、内容、支給量

6 相談日および相談時間

- 1) 相談日 月曜日から金曜日（祝日および12月29日から1月3日は除く）
- 2) 相談時間 10時から17時

7 重点課題・目標に対する成果と課題

1) 活動

(1) サービス等利用計画およびモニタリングの充実

計画内容の充実のため、下記のことを実施する。特に、相談者状況については、新型コロナウイルス感染症の影響により、面談が困難となることが予測できるが、感染対策を徹底し可能な限り訪問による面談を行う他、居宅支援の訪問や通所事業所の送迎等で支援機関が自宅を訪問した際に得た情報（健康及び衛生状態や服薬状況等）を聴取するなどし、詳細な状況の把握に努める。

- (1) 相談者状況の把握
- (2) 関係者会議の実施
- (3) 障害福祉サービス事業所以外の社会資源（医療、地域のサークル等）の把握
- (4) 他市の障害福祉サービス事業所等の状況把握（相談ケースが多い東村山市を中心に情報を把握する：約40事業所）
- (5) 職員による計画作成の目的の共有及び相談者のケース検討等の実施

【成果と課題】

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、昨年度と比べて自宅またはサービス提供事業所への訪問による面談や関係機関との会議や連携が行い易くなり、自宅やサービス提供事業所での様子など相談者一人ひとりの状況把握が進んだ。
- (2) 関係者会議は、グループホーム利用者に関する会議が多かった。特に利用開始前後の様子や利用中の課題などの生活面での課題が主であった。各機関と情報を共有しながら、課題解決に向けた支援方針の統一を図ることなどに取り組んだ。短期で課題の解決に繋がったケースもあれば、長期にわたって定期的な実施することで徐々に解決策を見出すことができたケースもあった。
- (3) かかりつけの主治医をもたず定期的な通院先がない方などに対して、地域で新規の受診が可能な病院等を探し、紹介することができた。また、地域の社会資源（サークルなど）や、住居情報（居住支援）の収集を進めた。
- (4) 小平市の隣接市である東村山市に焦点をあて、福祉サービス事業所に関して「東村山市地域生活支援拠点等事業所一覧」をもとに、各職員で分担し各事業所の現状の利用者数、受け入れの可能性など情報収集に努めた。その情報を基に、相談者家族から短期入所事業所の紹介を求められた際に情報提供を行うことができたケースが1件あった（令和4年度全44か所確認完了）。
- (5) 計画作成の目的は概ね職員間で共有され、計画の内容も徐々に充実が図られている。しかし、一部計画書に記載方法が統一されていない、内容が曖昧、課題と目標に整合性がないものなどが見られている。また、ケースの共有や検討については、毎月事業所会議内で特に新規利用者や課題のあるケースを中心に行っており、情報共有や支援方針の統一は概ねできた。

《令和4年度 面談回数及び関係者会議回数》

	令和3年度	令和4年度
面談回数	281件	399件
関係者会議回数	26件	39件

(2) 計画作成のスケジュール管理の維持

障害福祉サービスの円滑な利用の為、計画作成、モニタリングなどのスケジュール管理を徹底し、以下の目標を達成する。

- ・サービス等利用計画作成件数 230件（令和3年度実績244件）
- ・モニタリング実施件数 420件（令和3年度実績408件）

【成果と課題】

相談者総数は年間で261名となり、新規相談者が昨年度比8名増の33名であったこともあり、計画作成件数、モニタリング実施件数ともに増え、当初の目標を上回ることができた。但し、計画、モニタリングの作成が期限間際となることもあり、スケジュール管理にまだ課題が見られた。年度後半に作成時期を全体的に早めるよう取り組み始めた。

	令和4年度目標数	令和4年度実績
・サービス等利用計画作成件数	230件	263件
・モニタリング実施件数	420件	469件

2) 人材育成

(1) 相談者との信頼関係の構築

傾聴する姿勢をもつ他、電話等によるコミュニケーションが多くなることが予測されるため、声色や話し方の工夫により相談しやすい雰囲気づくりに努め、相談者との信頼関係の構築を図る。

【成果と課題】

面談時（電話を含む）では、世間話や趣味の話なども織り交ぜ、利用者がリラックスして話せるよう努めた。また、相談者の特性に合わせた会話のスピードや声の大きさを調整する他、相談者からの話しを遮ることなく最後まで聞き取る姿勢をもつことで相談者との信頼関係も少しずつではあるが構築することができた。

(2) 関係機関との連携強化

ケースを通じて、日常的に密に連絡を取り、連携した支援が行えるように関係性を強化する。

【成果と課題】

7月、11月、3月の計3回の相談支援ワーキング（小平市の全相談支援事業所の連絡会議）を通じて新規事業所も含め相談支援専門員同士の横のつながりができたとともに、特別支援学校教諭とも有益な情報交換ができた。また、利用計画作成やモニタリングでの事業所訪問で関係機関の職員との交流が進んだほか、認定調査の同席やサービス利用時等の連絡調整を通じて小平市はじめ関係自治体との連携も進めることができた。

(3) 課題解決策等の提案力の向上

法制度や地域の社会資源に関する知識を向上させ、課題解決に活用できる力をつける。

【成果と課題】

小平市内の障害福祉サービス事業所の情報は、定期的に小平市に問い合わせを行い、情報収集

に努めている。居宅支援や短期入所、行動援護などは、利用の問い合わせに対して、対応できる人材がない等の理由で断られることもあり、他の障害福祉サービス同様にここでも人材不足が課題となっている。市外の事業所の情報収集を行うことで対応可能な事業所の紹介につながったこともあり、より広範な地域の社会資源の把握が必要となってきている。

3) 経営管理

(1) 計画相談作成給付費の増収

計画相談作成給付費の増収のため、新規相談者の確保を行う。定期的に行政や特別支援学校などと連絡を取り合い新たに福祉サービス利用予定者がいるかなど情報交換、共有を図っていく。

・目標数 264名（令和3年度末利用者数：241名）

【成果と課題】

令和5年3月末の時点で、新規利用契約者数は261名となった。年度当初から比べると20名増（33名新規利用、13名利用終了）となったものの、目標数は達成することができなかった。新規相談者の約8割は就労支援センターほっとからの紹介であった。7月に近隣の特別支援学校を訪問し利用者募集を行ったが、具体的な相談はなかった。また、定期的に小平市へ新たに福祉サービス利用予定者の紹介を依頼したところ、今年度の紹介事例は2件あった。引き続き、行政、学校、就労支援センター等と連絡を取り合い、新規相談者の獲得に向けて取り組んでいく必要がある。

(2) 節電等による経費削減

【成果と課題】

節電に努め、面談室の消灯やエアコンの消し忘れ等は殆どなかった。

(3) 整理整頓、在庫管理の徹底により計画的な備品の購入

【成果と課題】

事務所内の整理整頓や在庫管理により事務用品や消耗品等計画的に購入することができた。

8 その他の成果と課題

- 1) 手洗い、消毒、換気、検温、マスクの着用など基本的な感染対策のほか、職員にインフルエンザ及び新型コロナウイルスの予防接種を実施し罹患者はいなかった。

9 事故等報告

- 1) なし

10 開所状況

- 1) 開所期間 自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日
- 2) 開所日数 (1) 週開所日数 5日間
(2) 開所時間 午前10時～午後5時
(3) 年間延開所日数 243日間（前年度242日）

1.1 相談者状況（令和5年3月31日現在）

身体障害者	:	40名
知的障害者	:	148名
精神障害者	:	72名
その他の障害者	:	1名
<hr/>		
合計	:	261名

内 法人内相談件数	126件
法人外相談件数	135件

1.2 計画作成件数

・計画作成件数 263件

居住地内訳 小平市234件、東村山市10件、西東京市11件、東久留米市5件、東大和市1件、羽村市1件、所沢市1件、

・モニタリング件数 469件

居住地内訳 小平市409件、東村山市17件、西東京市20件、東久留米市4件、東大和市3件、武蔵野市2件、小金井市2件、羽村市3件、武蔵村山市4件、板橋区2件、足立区2件、所沢1件